

《 高校1年生 ～ 大学入試までの道筋 》

高校入学と同時に大学入試始まっています！
学年の枠にとらわれず先取り学習が合格への鍵！

◇高1の1学期

学習スタイルの確立をしましょう。高校は中学より進度が早く、内容も難しくなります。「予習」→「授業」→「復習」のサイクルを習慣化し、最低でも1日2時間、学習に取り組むように心がけましょう。特に暗記の多い科目に関しては日々コツコツと取り組むしかありません。しっかり時間を割いて取り組んでください。また、高1秋には文系理系の選択をしなければなりません。“まだ早い”などと思わず、自分が理系に進むのか文系に進むのか意識しながら過ごすことも大切です。入試情報にも敏感になっておくようにしましょう。学校推薦型・総合型選抜を考えている人は、定期テスト対策をしっかりと行いましょう。ただし、一般選抜の可能性もありますから、付け焼刃的なやり方ではなく“日々コツコツ”と学習に取り組むことが大切です。



◇高1の夏～2学期

高校生活にもだいぶ慣れてきている頃だと思います。得意科目と苦手科目がはっきり出てくる頃でもあります。まだ挽回できますので、もし苦手科目ができてしまった場合は夏休みの間にしっかり復習しておきましょう。また大学のオープンキャンパスに参加して大学の情報収集もおきましょう。英検の取得も今や必須です。英検準2級にチャレンジしていきましょう。

◇高1の冬～3学期～春休み

高1のまとめをしましょう。応用問題に手が出せなくても構いません。教科書レベルの問題が確実に解けるよう復習をしていってください。また模試や定期テストの解き直しをしていなかった人は、まずその解き直しと、そこで判明した弱点の克服に注力しましょう。冬休みは長くありませんから単元や科目を絞って復習してください。余裕があれば高2の予習をスタートさせると良いでしょう。

高2の夏には志望校決定！
推薦試験の条件や英語外部検定の必要レベルの確認！
学校行事や部活動が一番忙しくなる時期。時間の有効活用を！

○高2の1学期

部活動・学校活動ともにもっとも多忙な1年になりますが、そこを上手に勉強と両立させることが大切です。大学受験の基礎を固める1年の始まりとも言えます。入試制度は複雑化しています。この時期は志望校の絞り込みと受験科目と受験方式の確認もおきましょう。目標が決まらなければ勉強の方針も立ちませんし、やる気にもなれないからです。学校推薦型・総合型選抜を考えている人でも（指定校推薦以外、絶対合格の保証はありませんので）何が起こるかわかりませんから一般選抜についても必ずリサーチしておきましょう。

○高2の夏～2学期

受験までアツという間です。勉強できる時間は多くはないということを意識しておきましょう。受験まで“あと1年と少し”と考える人が多いですが、時間数にしてみるとそれほど多くありません。そのことを踏まえ、「受験まであと△時間だから、▲月までに▲を▲ページこなす」といったゴールから逆算した計画を立てるようにしましょう。高校3年次に学力を伸ばすためには、2年次の基礎学力の貯金がものを言いますので、ここでの計画をおろそかにしないようにしておきましょう。3年次にはより専門的な勉強が控えているため、考えている以上に1～2年の復習に充てる時間はあまりありません。とにかく1～2年の内容の絞りを絞って復習をしておきましょう。

○高2の冬～3学期

とにかく基礎固めの徹底をしましょう。もうすぐ高3だから…と焦って新しい参考書や問題集に手を出す人をよく見かけますが、あまりオススメしません。高1の記述同様、模試や定期テストを解き直して弱点克服を図りましょう。また暗記科目を後回しにしていた人も、この時期に一度ひととおりの目を通しておくようにしましょう。

**1科目でもいいので高2の冬から受験勉強を開始！
高3の夏以降は演習中心で入試実践力をつけよう！**

☆高3の1学期

改めて志望校の受験科目・受験方式を確認しておきましょう。この時期は基礎～標準の問題に取り組むようにしましょう。暗記科目も暗記だけにせず、問題集を使い“アウトプット（演習）”を意識していきましょう。英検2級以上の取得もこの時期までを目安に狙っておきましょう。

☆高3の夏

この時期は、7月の期末試験が終わる頃は試験休みや夏休み、部活の引退などもあり生活リズムが変わります。この時期専用の学習計画をしっかりと立て直しましょう。推薦入試を利用する人は志願理由書、小論文や面接対策などここが本番です。しかし、一般入試のための勉強もおろそかにしてはいけません。立てた計画を忠実に実行し、常に時間を意識して過ごしましょう。一般入試がメインの人はさらにアウトプット（演習）を増やし、実践的な知識を付けていくことが大切です。なお暗記科目がまだひととおりの終了していない人は夏休み中には必ず終わらせるようにしましょう。



☆高3の秋～冬

まもなく入試本番です。マーク過去問+新傾向の解法スキルを身に付けていく時期です。遅くとも9月中には過去問に取り組める態勢を作りましょう。過去問を解く上で重要なのは、現時点での自分の力と入試問題との差（ギャップ）をしっかりと知ることです。それを知った上で何が足りていないのか把握し、フレキシブルに学習計画を変更していきましょう。また、年度によって問題の難易度も異なります。単に得点に一喜一憂せず、合格最低点と合格平均点も研究し、難しい問題が出題された時はこの問題を取れるようにする、簡単な問題が出題された時はここまで取れるようにするなど、本番を意識した過去問演習を心がけましょう。

**演習量の多さが合格への鍵となりますが、
基礎力のないまま演習しても伸びません！**